



関東森林学会ニューズレター

関東森林学会事務局

第13回関東森林学会大会のご案内

- 開催日 令和5(2023)年11月2日(木)
- 会場 山梨県JA会館 6階
甲府市飯田1丁目1-20
<http://kyodosisetu.ec-net.jp/access.html>

JR中央線甲府駅より

徒歩15分

タクシー3分

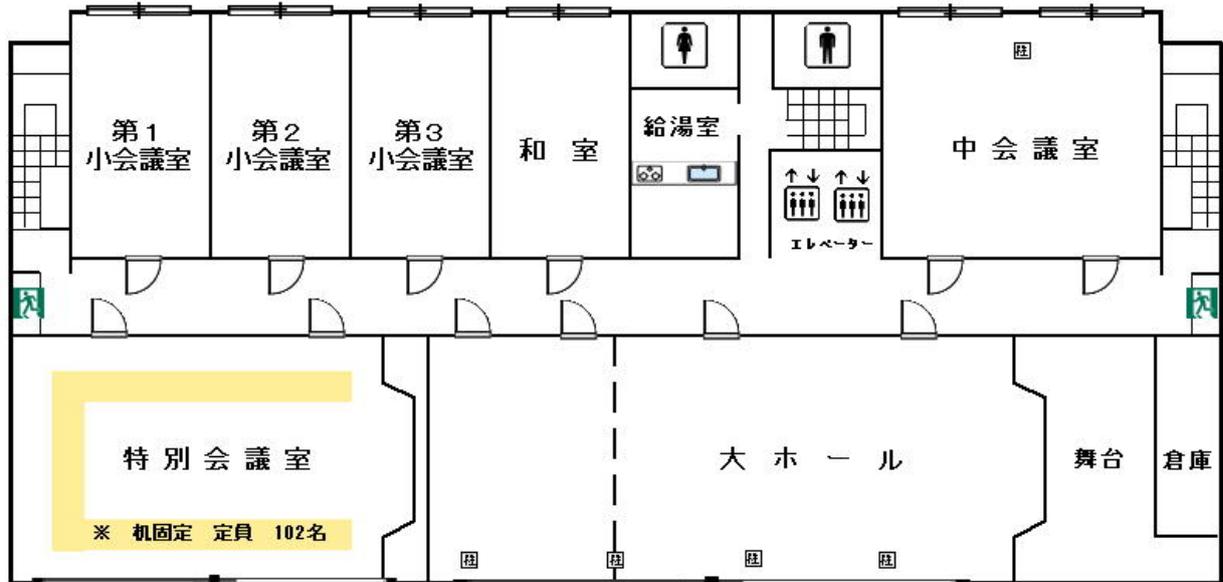
バス5分(飯田町経由湯村行・バス停飯田三丁目下車)

※駐車場: 工事のため、会場内の駐車場(無料)の台数に限りがあります。
会場近隣の有料駐車場もご利用ください。

- 日程 受付 9:15~
研究発表 9:45~16:15
総会 12:00~13:00(ホール)
特別講演 13:00~14:00(ホール)
演題: 森林管理における地域性の役割
演者: 大住克博氏(元・森林総合研究所)

- 発表会場と発表部門

会場(山梨県JA会館6階)	午前	午後
ホール	経営	総会・特別講演・経営・風致
特別会議室	造林	造林・生態
中会議室	防災	防災・立地
第1小会議室	動物・樹病	林産・育種・生理
第2小会議室	利用・林政	特用
第3小会議室	休憩室	休憩室
和室	事務局	事務局



※各発表部門の時間割は、発表プログラムでご確認ください。

※昼食は、周辺の食堂等をご利用ください。

※第3小会議室を休憩室とします。荷物等を置かれても構いませんが、紛失等の責任は負いかねますのでご了承ください。

● 研究発表に関する注意点

※要旨集・プログラムを印刷・配布いたしません。各自、関東森林学会ウェブサイト (<http://www.kantoforest.jp/>) にアクセスの上、ご持参ください。

※研究発表の座長は輪番制です。プログラムでご確認ください。

※配付資料がある場合は、各自で必要数をご持参ください。

※Windows10にMicrosoft PowerPointをインストールしたPCを各会場に準備いたします。使用される方はファイルを格納したUSBメモリーをご持参下さい。その際、ウイルス対策を万全によろしくお願いいたします。また、事前に動作確認をして頂くようお願いいたします。

※PowerPointで投影される方は、午前の発表の方は9:45までに、午後の発表の方は14:15までに、各会場のPCにファイルをコピーしてください。ファイル名は、以下の例のようにお願いします：例： 経営1_〇〇〇〇.ppt (〇〇〇〇は氏名)

※発表時間は12分、質疑応答は2分30秒の計14分30秒です。時間厳守でよろしくお願いいたします。

● 大会スケジュール

開始時間	終了時間	ホール		特別会議室		中会議室		第1小会議室		第2小会議室		第3小会議室
		講演者	座長	講演者	座長	講演者	座長	講演者	座長	講演者	座長	
9:45	10:00	経営1	経営7	造林1	造林9	防災1	防災9	動物1	樹病1	利用1	林政1	
10:00	10:15	経営2	経営1	造林2	造林1	防災2	防災1	動物2	動物1	利用2	利用1	
10:15	10:30	経営3	経営2	造林3	造林2	防災3	防災2	動物3	動物2	利用3	利用2	
10:30	10:45	経営4	経営3	造林4	造林3	防災4	防災3	動物4	動物3	利用4	利用3	
10:45	11:00	経営5	経営4	造林5	造林4	防災5	防災4	動物5	動物4	利用5	利用4	
11:00	11:15	経営6	経営5	造林6	造林5	防災6	防災5	動物6	動物5	利用6	利用5	
11:15	11:30	経営7	経営6	造林7	造林6	防災7	防災6	動物7	動物6	利用7	利用6	
11:30	11:45			造林8	造林7	防災8	防災7	動物8	動物7	利用8	利用7	
11:45	12:00			造林9	造林8	防災9	防災8	樹病1	動物8	林政1	利用8	
12:00	12:15											
12:15	12:30		総会									
12:30	12:45											
12:45	13:00											
13:00	13:15											
13:15	13:30		特別講演									
13:30	13:45											
13:45	14:00											
14:00	14:15											
14:15	14:30	経営8	風致3	造林10	生態4	防災10	立地2	林産1	生理2	特用1	特用8	
14:30	14:45	経営9	経営8	造林11	造林10	防災11	防災10	林産2	林産1	特用2	特用1	
14:45	15:00	経営10	経営9	造林12	造林11	防災12	防災11	育種1	林産2	特用3	特用2	
15:00	15:15	経営11	経営10	造林13	造林12	防災13	防災12	育種2	育種1	特用4	特用3	
15:15	15:30	経営12	経営11	生態1	造林13	立地1	防災13	育種3	育種2	特用5	特用4	
15:30	15:45	風致1	経営12	生態2	生態1	立地2	立地1	生理1	育種3	特用6	特用5	
15:45	16:00	風致2	風致1	生態3	生態2			生理2	生理1	特用7	特用6	
16:00	16:15	風致3	風致2	生態4	生態3					特用8	特用7	

休憩室

● 口頭発表題目

分野	発表題名と所属
林政	
林政1	きのこ生産における障害者就労－群馬県の事例－ 田中亘(森林総研)
風致	
風致1	博物館のきのこ展示から森林とのつながりを学ぶことはできるのか？ 杉浦克明・三浦万由子・戸口愛里・松倉君予(日大)
風致2	森林環境教育にみる博物館における教育普及活動の特徴 三浦万由子・杉浦克明(日大)
風致3	図鑑作成にみる市民の生物への興味と関心～里山保全ボランティア養成講座の参加者を対象として～ 園原和夏・杉浦克明(日大)
経営	
経営1	スギ細り調査データから解析した枝下率と直径の太りについて 岩井淳治(新潟県森林研)
経営2	スギ林及びヒノキ林における強度間伐後の下層植生の変化 飯田玲奈(群馬林試)
経営3	南関東・東海地方スギ林分密度管理図の検証と改訂の試み 細田和男・西園朋広・北原文章(森林総研)・笹川裕史・古田朝子(日本森技協)
経営4	森林生態系多様性基礎調査を用いた人工林の多様性の評価 宮本麻子(森林総研)
経営5	森林生態系多様性基礎調査データを用いた森林の伐採因子の分析 小幡進午(森林総研)
経営6	2時期の地上レーザースキャナー計測による成長量の把握：72年生ヒノキ人工林の事例 西園朋広・小幡進午・鄭峻介・高橋正義・齋藤英樹・細田和男・北原文章・小谷英司(森林総研)
経営7	森林資源としての精油生産の現状と課題-株式会社プロジェクトデザイン アロマ事業部を事例に- 吉野聡・三上誉央(東農大地域環境)
経営8	Utilization of biochar from gasification in Nanbu, Yamanashi prefecture Christian Paul Kolonel, Taisei Imamiya, Satoshi Yoshino, Takayoshi Sato (Tokyo Univ. of Agriculture)

- 経営9 映像制作における「美しいもり」の構成要素と「もりづくり」への参加－東京農業大学学生へのアンケート調査を事例として－
寺田美紅(東京農大)・小森谷孝志(群馬県林研)・佐藤孝吉(東京農大)
- 経営10 大学の分収林経営に関する一考察－東京農業大学中木山分収林を事例にして－
佐藤孝吉(東京農大)
- 経営11 森林保険のための森林損害調査におけるUAV利用の実態と課題
高橋正義・齋藤英樹・瀧誠志郎・小幡進午・西園朋広(森林総研)・加嶋将史(森林保険センター)
- 経営12 森林空間のレンタルサービス事業の可能性－株式会社山共によるforentaを事例として－
齋藤州生・大坪拓・竹田悠悟・佐藤孝吉(東京農大地域)

造林

- 造林1 石垣島における虫害等発生による早生樹2樹種の被害状況について
竹中浩一(国際農研)
- 造林2 マサキを用いた挿し木における挿し穂の葉量と水挿しの影響
戸田翔子・田中恵・上原巖(東京農大)
- 造林3 福島県南相馬市のヒノキ放置林における間伐の実施とその後の植生変化
上原巖(東京農大)
- 造林4 傾斜地における樹冠長の不均一性が森林の混み合い度予測に与える影響
壁谷大介・櫃間岳・宮本和樹(森林総研)
- 造林5 間伐から40年を経た高齢ヒノキ人工林の林分構造と多様性
五十嵐哲也(森林総研)
- 造林6 植栽したスギ・ヒノキの苗木全数の樹高の把握
新井一司・畑尚子・奈良雅代(東京農総研)
- 造林7 競合植生と立地条件を考慮したスギ植栽苗の初期成長に対する植栽時のグルタチオンと緩効性肥料の施用効果の検証
原山尚徳・飛田博順・奥田史郎・上村章・齋藤隆実・壁谷大介(森林総研)・山川博美(森林総研九州)・小川健一(岡山生物研)
- 造林8 秋施肥がスギコンテナ苗の耐凍性に及ぼす影響
飛田博順・原山尚徳・上村章・香山雅純・齋藤隆実・奥田史郎(森林総研)・矢崎健一(森林総研北海道)
- 造林9 アカメガシワの成長に対する堆肥の効果
香山雅純(森林総研)
- 造林10 獣害防止柵撤去時における支柱等の簡易な引き抜き方法の提案について
松山元昭(埼玉県寄居林森林研)
- 造林11 コンテナ苗の被覆資材としてのスギ・ヒノキ球果の雑草抑制効果
阿部森也(茨城県林技セ)
- 造林12 スギ造林地における「通常下刈」と「冬季下刈」の成長比較
中山優子・平尾翔太・仲田昭一(関東森林管理局)・奥田史郎(森林総研)
- 造林13 スギ特定母樹の自然交配種子から生産された苗木(特定苗木)の植栽密度に関する試験
前川直人・鈴木孝典(茨城県林技セ)

育種

- 育種1 短時間の高温ストレスによるスギ実生コンテナ苗の成長阻害
大平峰子・松下通也(森林総研林育セ)
- 育種2 異なる時期におけるチャバネアオカメムシの加害がスギ種子の発芽率低下に与える影響
室紀行(埼玉県寄居林森林研)
- 育種3 ミニチュア採種園に導入された花粉の少ないスギ系統の着花量と球果着生量の関係
相馬航輔(茨城県林技セ)

生理

- 生理1 in vitroにおけるミヤマナギ実生と外生菌根菌の共存培養
田中恵・高辻有希(東京農大)
- 生理2 樹木の抽出液を用いた大腸菌に対する抗菌効果について
丸山真依・田中恵・上原巖(東京農大)

生態

- 生態1 森林火災跡地における林床環境の変化と土壤無脊椎動物群集の動態
才木道雄(東大秩父演)・鈴木智之(東大北演)

- 生態2 **モンゴル・ユルー川流域における1960年代と2020年代の森林分布範囲の比較**
鈴木康平(筑波大)・小長谷有紀(国立民族学博物館)・渡邊三津子(文教大)・滝口良(モンゴル日本人材開発センター)・上條隆志(筑波大)・山中典和(鳥取大)
- 生態3 **亜熱帯林を構成する樹木の葉の形態と耐塩性**
田中憲蔵・河合清定(国際農林水産研究セ)・飯田真一・清水貴範(森林総研)・漢那賢作・伊藤俊輔(沖縄県森林資源研究セ)・壁谷直記・清水晃(森林総研九州)
- 生態4 **関東南部における外来種トウネズミモチの分布・更新特性**
安部哲人・内田隼斗(日大)・榎園道(関東森林管理局)

立地

- 立地1 **長期のカリウム施肥を受けた土壌と樹木の養分バランス —異なる施肥方法と樹種による検討—**
長倉淳子・古澤仁美・小松雅史・平井敬三(森林総研)・伊藤江利子(森林総研関西)・橋本徹(森林総研北海道)
- 立地2 **積雪が有機物の分解速度と分解者微生物に与える影響**
上野美桜・上村真由子(日大)・韓慶民(森林総研)・飯尾淳弘(静大)

防災

- 防災1 **災害伝承の有効性と防災・減災への活用に関する一考察**
本田尚正・加藤晴奈(東京農大)
- 防災2 **海岸防災林内陸部に異なる条件で植栽した6種の広葉樹の生存率と樹高成長**
小林真生子(千葉県農林総研森林)・小森谷あかね(千葉県中部林業)・宇川裕一(千葉県森林課)
- 防災3 **視覚化された情報に基づく海岸地すべりの変位特性**
岡本隆(森林総研)・土井一生(京大防災研)・大澤光(森林総研)・松浦純生(元京大)・土佐信一・柴崎達也(国土防災技術)
- 防災4 **森林斜面における土壌侵食量の時系列変化からみた侵食メカニズム**
平口昌樹(農工大)・Duong Tuan Ahn(元農工大)・白木克繁(農工大)・内山佳美(神奈川県自然保セ)
- 防災5 **斜面安定解析における樹木根系効果導入の検討**
岡田康彦(森林総研)・蔡飛(群馬大)
- 防災6 **幼齢林、壮齢林の樹冠遮断損失とその上限について**
西原加織(農工大)・白木克繁(農工大)・MahparaShahzadi(農工大)
- 防災7 **土石流先端部への流木集積過程に関する水路実験と数値計算**
鈴木拓郎・経隆悠(森林総研)
- 防災8 **Throughfall distribution around tree boles: A pool system study**
Mahpara Shahzadi (農工大)
- 防災9 **The effects of thinning on long-term runoff change of coniferous forest plantation in Hitachi Ohta experimental watershed**
Kannika Junsuk, Katsushige Shiraki (Tokyo University of Agriculture and Technology), Tayoko Kubota (FFPRI)
- 防災10 **アトウェルソタ地区における変動斜面の地中水モニタリング**
浅野志穂(森林総研)・森田昇吾(国土防災技術(株))・齋藤智則(大起理化工業(株))・Suranga Dissanayaka・Ranjan Weerasinghe・Sanchitha Jayakody(NBRO)
- 防災11 **The spatial and temporal variation of bedrock groundwater flow in nested sedimentary headwater catchments**
Nguyen Thi My Linh (農工大), Takashi Gomi (名古屋大), Chen-Wei Chiu, Yuichi Onda (筑波大), Dinh Quynh Oanh (ハロン大), Katsushige Shiraki (農工大)
- 防災12 **ブナが優占する冷温帯落葉広葉樹林における熱フラックスの長期観測**
生田海斗・小坂泉・定元太智・畑岸萌香・白井琴乃・瀧澤英紀・阿部和時(日大)
- 防災13 **冷温帯と暖温帯に生育するブナの光合成速度および蒸散速度の測定**
畑岸萌香・小坂泉・白井琴乃・生田海斗・定元太智・瀧澤英紀・阿部和時(日大)

利用

- 利用1 **日本全国における到達網費を考慮した未利用材利用可能量推計**
有賀一広・武田愛子・藤井絢弓・松岡佑典(宇都宮大)・白澤紘明(森林総研)・鈴木保志(高知大)
- 利用2 **新潟県長岡市における広葉樹林の持続可能な利用をベースとした経済評価に関する試み**
大出直斗(長岡技大)・金子与止男(こしじ水と緑の会)・中静透(森林総研)・岩井淳治(新潟県森林研究所)・山本麻希(長岡技大)
- 利用3 **コンテナ苗植栽の作業効率と作業姿勢の評価**
原田慎也・亀山翔平・矢部和弘(東京農大)

- 利用4 **林業作業における作業日報様式の分析**
鈴木裕也・亀山翔平・矢部和弘(東京農大)
- 利用5 **林地残材の積み込み作業のモデル化と採算性の検討**
黒田浩太郎・金鉉倍・吉岡拓如(東大)
- 利用6 **微細藻類を用いたのり面保護工の晩秋施工**
矢部和弘(東京農大)・富坂峰人・尾関哲史・城野裕介・梁有希(日本工営)・足立幸大(日健総本社)・江口文陽(東京農大)
- 利用7 **異なる撮影条件でのUAV-SfMによる3Dモデルを用いた森林情報の計測精度と作業効率**
亀山翔平(東京農大)
- 利用8 **地上レーザ計測により取得したDEMを用いた林内路網計画**
石井航・亀山翔平・矢部和弘(東京農大)

動物

- 動物1 **フタマタナガマドキノコバエにおける温度と発育との関係**
北島博(森林総研)
- 動物2 **群馬県内におけるヤマビルの分布変遷(2022)について**
坂庭浩之(群馬林試)
- 動物3 **ソメイヨシノに被害するクビアカツヤカミキリ成虫の日周行動**
衣浦晴生(森林総研)・高梨琢磨(森林総研東北)・中島太郎(足利市)・松島一司(足利市役所)
- 動物4 **林齢の異なるコナラにおけるカシノナガキクイムシの発生量と粘着資材により捕獲した生物相**
松本薫(埼玉森林インストラクター会)・室紀行(埼玉県寄居林森林研)
- 動物5 **埼玉県におけるカシノナガキクイムシのモニタリング調査**
中村葉子(埼玉県寄居林森林研)
- 動物6 **カシノナガキクイムシ被害丸太の埋設処理による羽化脱出数への効果**
松本剛史・矢口甫・滝久智・衣浦晴生・北島博(森林総研)
- 動物7 **芳ヶ平湿地群におけるニホンジカの利用状況**
山田勝也(群馬林試)
- 動物8 **シカ防護柵による森林生態系への影響について～森林レクリエーションの場におけるシカ柵と生物多様性～**
三井華(関東森林管理局)

樹病

- 樹病1 **樹病罹病木内の病害菌特異的定量における樹種による定量阻害**
山口宗義・秋庭満輝・佐橋憲生・矢崎健一(森林総研)

林産

- 林産1 **ハチクの酵素糖化特性**
瀬山智子・坂本奈々・浅利匡哉(東京農大)
- 林産2 **マテバシイ材への熱処理による材内ひずみの低減効果**
黒瀬弘毅(千葉県農林総研森林)・黒田学(千葉県北部林業事務所)

特用林産

- 特用1 **漆採取量に優れた系統の簡易な選抜に適した形質の検討**
関根直樹・小林久泰(茨城県林技セ)・神長正則(奥久慈漆生産組合)・細田浩司(茨城県林技セ)
- 特用2 **きのご原木を用いた傾斜地の土壌流出の可能性**
木村健一郎(農研機構農工研部門)・安西俊彦・竹中浩一(国際農林水産研究セ)
- 特用3 **シイタケ原木栽培における樹種による放射性セシウムの移行係数の違い**
岩澤勝巳(千葉県農林総研森林)・小森谷あかね(千葉県中部林事)・宇川裕一(千葉県森林課)
- 特用4 **シイタケ廃菌床を利用したエノキタケ2品種の菌床栽培**
清水達哉・武田綾子(新潟県森林研)
- 特用5 **省エネに向けたきのこの高温対応種の選抜**
松本哲夫(群馬林試)
- 特用6 **マツタケ菌根苗作出に有用であった接種資材の汎用性**
小林久泰・倉持眞寿美(茨城県林技セ)
- 特用7 **原木きのご栽培におけるほだ木伏込後の管理方法の検討**
中村弘一・市村よし子(茨城県林技セ)
- 特用8 **コーンコブミール主体培地で栽培されたエノキタケ廃菌床を利用したエノキタケ菌床栽培**
武田綾子(新潟県森林研)
-

●「関東森林研究」第75巻への投稿論文原稿の募集

関東森林研究は原則として大会において発表された論文を対象に編集します（編集委員会運営規則第3条）。第13回関東森林学会大会で研究発表される方は、発表内容を論文または速報として投稿することができます。投稿を希望される方は、投稿原稿等の必要書類を大会ページから電子投稿して下さい。投稿原稿の提出期限は11月15日（水）とします。

（1）原稿の電子投稿

提出物：

①論文原稿：電子ファイル1部（PDF）または、速報原稿：電子ファイル1部（PDF）

②英文原稿の場合、英文校閲済の証明書

提出先：<http://www.kantoforest.jp/>

投稿に関する問い合わせ：

日本大学生物資源科学部森林資源科学科

関東森林学会 編集委員会（安部哲人）

TEL：0466-84-3768 FAX：0466-84-3676

E-mail：abe.tetsuto@nihon-u.ac.jp

（2）原稿作成上の注意

原稿作成に際しては、関東森林学会ホームページ（<http://www.kantoforest.jp/>）の投稿規定および最新の執筆要領にしたがい、提出前に最新の投稿チェック表で十分に確認した上で提出して下さい。投稿連絡表の提出は不要です。投稿者情報をWeb上に記入して下さい。審査は「関東森林研究」投稿原稿審査要領にしたがって行います。投稿規定、執筆要領を満たしていない原稿は受け付けませんのでご注意ください。また、原稿作成においては上記ホームページ上に掲載している、最新の原稿テンプレート（第75巻用）を必ず使用して下さい。ご協力のほどよろしく申し上げます。

（3）原稿審査

投稿規定、執筆要領を満たしていることが確認された原稿について投稿を受け、担当の審査員を決定して審査を開始します。審査の結果、修正を要すると判断された場合は、著者に修正稿の提出を求めます。提出期限までに修正稿が提出されない場合は、投稿を取り下げたものとみなします。なお、第75巻は2024年3月末に第1号、7月末に第2号を印刷発行する予定です。

事務局連絡

● 関東森林学会 第13期（2023年度）第1回幹事会議事録

【日時】2023年6月13日（火）15:00～16:45

【場所】Teamsによるオンライン会議

【出席】（順不同，敬称略）

（都道府県幹事）新井（東京），今井（栃木），長池（山梨），菅井（茨城），松本（群馬），中村（埼玉），塚原（新潟），齋藤（神奈川），小林（千葉）

（国機関幹事）青井（森林総研，本所），田村（森林総研，林木育種）

（大学幹事）瀧澤（日本大），有賀（宇都宮大），田中（東京農業大），岩岡（東京農工大）

（学会事務局）有賀（会長），瀧澤（副会長），林（会計，宇都宮大），長池（大会，山梨），田中（監査，東京農業大），逢沢（総務，宇都宮大）

【欠席者】古井戸（東京大），安部（編集，日本大），白木（HP，東京農工大）

【書記】逢沢（総務，宇都宮大）

【事前配布資料】

資料-1 2023年度（第13期）役員名簿

資料-2 関東森林学会規則等改定

資料-3 第12期関東森林学会運営収支決算報告書

資料-4 R4 関東森林学会大会運営費執行簿

資料-5 第13期学会運営予算案

資料-6 今後の運営体制

資料-7 表彰依頼

資料-8 関東森林学会規則等改定（印刷関係）

資料-9 関東森林研究編集・発刊

資料-10 75 テンプレート

資料-11 幹事から意見

【議事】

1. 第13期（2023年度）会長等役員を選出，機関幹事名簿の確認，および会則の別表の更新（会長・総務担当理事，資料1～2）※資料1は画面共有のみ

- ・会長 有賀一広（宇都宮大学）
- ・副会長 瀧澤英紀（日本大学）
- ・総務担当理事 逢沢峰昭（宇都宮大学）
- ・会計担当理事 林 宇一（宇都宮大学）
- ・行事担当理事 長池卓男（山梨県森林総合研究所）
- ・編集担当理事 安部哲人（日本大学）
- ・総務担当理事補佐（HP担当） 白木克繁（東京農工大学）
- ・監査 田中 恵（東京農業大学）

事務局の提案の第 13 期の会長等の役員が承認された。また、機関幹事の名簿が確認された。会則の別表の更新について事務局の提案の通り承認された。また、別表では個人住所は掲載しないことが承認された。ただし、学会運営にかかわる銀行などの口座開設に際して必要な場合は個人住所を追記することとした。

2. 「関東森林研究」投稿規定、並びに「関東森林研究」投稿原稿審査要領の一部改定（総務担当理事，資料 2）

- ・投稿規定と審査要領の変更に関する記載がなかった。投稿規定については、幹事会の議を経て改定してきたため、「8. 本規定の変更 幹事会の議を経て変更することができる」を加えたい。また、審査要領についても同様に、「8. 本要領の変更 幹事会の議を経て変更することができる」を加えたい。

事務局の提案の通り承認された。

3. 第 12 期（2022 年度）会計決算報告（前会計担当理事，資料 3；本ニュース p.12）

事務局の提案の通り承認された。

4. 2022 年度学会大会（於：東京都）決算報告（前行事担当理事，資料 4）

事務局の提案の通り承認された。

5. 第 13 期（2023 年度）予算計画（案）（前会計担当理事，資料 5；本ニュース p.13）

意見があり、収入の部の論文集売却と別刷り等については、74 巻であることを摘要に明示することを条件として、事務局の提案の通り承認された。

6. 2023 年度学会大会（於：山梨県）開催方針（行事担当理事，総務担当理事，資料なし）

- ・開催日程と会場：11 月 2 日（木）・山梨県 JA 会館（甲府市）
- ・開催方法：対面のみ
- ・参加費徴収なし
- ・特別講演：大住克博先生（鳥取大名誉教授・元森林総研）「林業技術の地方性（仮）」
- ・第 2 回幹事会：大会 1 週間前の 10 月 26 日（木）13：00～14：30 に Teams で開催

行事担当理事の提案の通り大会の開催方針について承認された。また、事務局の提案の通り第 2 回幹事会の日時が了承された。

7. 2024 年度以降の体制（会長，副会長，総務・会計，編集，行事）（総務担当理事，資料 6）

- ・副会長・編集，学会大会会場担当
- ・2024 年度茨城県（提案），2025 年度千葉県（予定），2026 年度神奈川県（予定）
- 2024 年度会長・総務・会計，副会長・編集
- ・2023～2024 年度（宇都宮大学・日本大学）
- ・2025～2026 年度（日本大学，森林総研）（提案）

- ・2027～2028年度（森林総研・東京大学）（予定）

事務局の提案の通り2024年度の大会担当は、茨城県担当とすることが承認された。

8. 2023年度表彰（副会長，資料7）

- ・機関幹事へのメール連絡を通して，表彰候補者の推薦を受けたい。

表彰委員長の提案の通り承認された。

9. 学会刊行物（総務担当理事）

- ・学会ニュースに関する事項（資料8）

(1) 学会ニュース，学会大会プログラムは冊子印刷を廃止し，学会HP内の掲載ページのリンクアドレスを付けたメールを機関幹事・個人会員へ送ることで周知したい。また，これに伴い，表彰委員会内規2項1)の「関東森林学会ニュースおよび」を削除したい。

学会ニュース，学会大会プログラムの冊子印刷について，事務局の提案の通り承認された。また，表彰委員会内規2項1)の改定についても承認された。

(2) 学会大会の案内と大会申込みフォームは，8月中旬に学会HPに掲載したい。併せて，4項の「本要領」を「本内規」に修正したい。

事務局の提案の通り承認された。また，表彰委員会内規4項の改定について承認された。

- ・「関東森林研究」74巻の発行完了について（資料9）

前編集委員長より74巻の発刊内容と編集日程，75巻の編集・発行について報告があった。

- ・「関東森林研究」のテンプレートの修正について（資料10）

74巻の編集時の課題を基に，前編集委員長より75巻テンプレートの一部改定に関する提案があり，了承された。

- ・「関東森林研究」の冊子体の廃止とオンライン発刊について（提案；資料8）

冊子体の印刷とCDによる別刷り配布を廃止し，オンライン発行のみにしたい。オンラインの場合は，年度末に当該発行巻をHP上にすみやかに公開（発刊）する。

メリット：研究成果の速やかな社会還元，カラー公開，別刷り購入義務がなくなる，冊子印刷代がなくなる，事務作業の削減など

デメリット：会員のみ冊子体が得られる特典がなくなる，別刷り収入がなくなるなど

オンライン発行へ向けた移行プロセスとして2案を提案したい。

案1：今年度は従来通り，冊子体を印刷し，来年度の幹事会・総会の議を経て，来年度から廃止する。

案2：今年度の第2回幹事会と総会において、会則から「印刷物」を削除することの議を経て、今年度、冊子体印刷を試行的に廃止する（必要なら冊子体を印刷する）。また、別刷については、今年度の第2回幹事会で、「購入義務」を廃止し、「別刷りを購入することができる」に改定する。

事務局提案の2案について、各機関より意見が述べられ、案2を今年度の総会で諮ることとなった。ただし、条件として、掲載HPを会員・非会員から見てもらえるような形に整備するとともに、運用に手間がかからないシステム構築が必要であるとの意見が出た。また、これまで冊子体で配布していた研究機関の図書館がオンライン化移行に対応できるか懸念があるとの意見があり、総務担当が当該機関に確認することとなった。

また、オンライン化あるいは年1冊の発行で学会誌として問題ないのかという質問があった。総務担当より、日本学術会議協力学術団体の条件の「4. 学術研究（論文等）を掲載する機関誌を年1回継続して発行（電子発行を含む。）していること」に合致するため問題ないとの回答があった。

10. その他

・各機関幹事からの意見（資料11）

（1）別刷り購入義務の廃止、および配布価格の値下げの希望

総務担当より、学会誌のオンライン化で別刷り購入自体がなくなることで、希望に沿った形になるとの説明があった。

（2）当該機関における会員数の減少にともなう機関幹事継続の困難化

当該機関より、現状の説明があり、今後学会として留意していくことを確認した。

第12期学会運営予算案

第12期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入の部

	費目	第12期予算	決算	差額	摘要
1	前年度繰越金	5,191,877	5,191,877	0	
2	会費	920,000	819,118	-100,882	行政機関会費¥30,000を含む
3	賛助会費	0	0	0	
4	論文集売却	30,000	15,000	-15,000	
5	別刷り等	800,000	520,000	-280,000	関東森林研究 73
6	雑収入	2,000	46	-1,954	利息（三菱UFJ銀行）
7	協賛金	0	100,000	100,000	日本森林学会、日本森林技術協会
8	返還金	0	0	0	
	合計	6,943,877	6,646,041	-297,836	

支出の部

	費目	第12期予算	決算	差額	摘要
1	ニュース印刷	150,000	98,560	-51,440	ニュースレター23,24（合併号）
2	論文集	700,000	484,660	-215,340	関東森林研究 73
3	大会運営	300,000	154,900	-145,100	第12回関東森林学会（オンライン） 第11回特別講演謝金（¥30,000）
4	編集費	30,000	0	-30,000	
5	旅費幹事会	250,000	0	-250,000	
6	会議費	20,000	0	-20,000	
7	通信費	50,000	13,767	-36,233	切手等
8	消耗品	50,000	211	-49,789	文具等
9	表彰費	100,000	41,560	-58,440	表彰状と図書カード
10	手数料	10,000	1,320	-8,680	振込手数料（三菱UFJ銀行）
11	謝金	10,000	0	-10,000	
12	HP管理費	50,000	0	-50,000	
13	予備費	5,223,877		-5,223,877	
14	繰越金		5,851,063	5,851,063	
15	合計	6,943,877	6,646,041	-297,836	

現財産

総収入	総支出	差額
6,646,041	794,978	5,851,063

財産内訳

三菱UFJ銀行	5,838,784
現金	12,279
合計	5,851,063

上記の通り学会運営の収支決算を報告いたします。

令和5年6月6日 事務局（会計担当理事）

田中 恵



監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和5年6月6日 監査

田中 良明



第13期学会運営予算案

第13期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

収入の部

	費目	第12期予算	第13期予算	差額	摘要
1	前年度繰越金	5,191,877	5,851,063	659,186	
2	会費	920,000	920,000	0	行政機関会費¥30,000を含む
3	賛助会費	0	0	0	
4	論文集売却	30,000	30,000	0	関東森林研究74
5	別刷り等	800,000	800,000	0	関東森林研究74
6	雑収入	2,000	2,000	0	利息、バックナンバー販売
7	返還金	0	0	0	
	合計	6,943,877	7,603,063	659,186	

支出の部

	費目	第12期予算	第13期予算	差額	摘要
1	ニュース印刷	150,000	150,000	0	
2	論文集	700,000	700,000	0	関東森林研究74
3	大会運営	300,000	500,000	200,000	第13回関東森林学会大会
4	編集費	30,000	30,000	0	関東森林研究74
5	旅費幹事会	250,000	250,000	0	第13期幹事会
6	会議費	20,000	20,000	0	第13期幹事会
7	通信費	50,000	50,000	0	印刷物発送等
8	消耗品	50,000	50,000	0	
9	表彰費	100,000	100,000	0	第13期表彰分
10	手数料	10,000	10,000	0	
11	謝金	10,000	10,000	0	
12	HP管理費	50,000	50,000	0	
13	予備費	5,223,877	5,683,063	459,186	
	合計	6,943,877	7,603,063	659,186	

関東森林学会第13期事務局

学会長：有賀一広（宇都宮大学）

学会副会長：瀧澤英紀（日本大学）

総務担当理事：逢沢峰昭（宇都宮大学）

総務担当理事補佐（HP担当） 白木克繁（東京農工大学）

会計担当理事：林 宇一（宇都宮大学）

行事担当理事：長池卓男（山梨森林総研）

編集担当理事：安部哲人（日本大学）

監査：田中 恵（東京農業大学）

連絡先 〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町 350

宇都宮大学農学部森林科学科（逢沢峰昭）

TEL：028-649-5531 E-mail：aizawam [あっと] cc.utsunomiya-u.ac.jp

振込口座 栃木銀行 陽東桜が丘支店（店番号 063）

普通預金口座 1111256

口座名義 関東森林学会 会長 有賀一広（カントウシンリンガツカイ カイチョウ アルガカズ ヒロ）

入退会の連絡は、会計担当の林宇一（uichi [あっと] cc.utsunomiya-u.ac.jp）にお願いします。